



- 2014-2015 R I 会長：ゲイリー・C. K. ホアン
- R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦
- 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：山岸 義弘
- 事務所：〒358-0023
入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 37 号 2858 回例会 2015 年 3 月 26 日 (木)

<ビジター・ゲスト>

深谷ノースロータリークラブ

第 2570 地区国際奉仕部門委員長

新島 修一 様

会長エレクト

関根 敬夫 様

2011～2012 年度国際親善奨学生 工藤 聖彦 様



3 月のマリンバ演奏会も無事終える事ができ、応援ありがとうございました。皆様のご支援により留学した成果の形として CD を今回発表いたしました。ご興味のある方、よろしくお願ひします。

● 米山カウンセラー委嘱状授与 田中快枝会員

● 会長の時間

加藤国夫会長

本日は、第 2570 地区・国際奉仕部門委員長・新島修一様をお迎えして卓話をお願いしております。「国際奉仕」についてのお話しを楽しみにしておりますので宜しくお願いいたします。

最近の国際社会情勢について、各メディア情報に目を向けますと、常軌を逸した出来事ばかりがやたら多いですが、今年に入って湯川さん、又ジャーナリストの後藤健二さん、人質殺害事件と続いて、又今月の 22 日チュニジアでの博物館襲撃事件では、狭山市の親子を含めた 3 人の日本人の方がテロの犠牲になった事は痛恨の極みです。この種の事件は中東だけに限った事では無いと心配していますが、私達ロータリアンが目指してきた、国際社会奉仕活動を通して、世界平和を唱え訴え続けて来たことを思うと、イスラム過激派の前には無力であることを感じています。この思いは私だけでは無いと思いますが、一日も早く世界平和の日が来ることを祈りたい気持ちです。

さて、光陰矢のごとしと申しますが、3 月の暦も今日が最終の例会を迎えることとなりました。「暑さ寒さも彼岸まで」と申します。そこ

で「彼岸」について少し調べてみました。お彼岸は、春分・秋分の日が、太陽が真東から上がって真西に沈むことから、西方極楽浄土の信仰と結びついた日本独自の仏教行事だそうです。仏教の世界では、生死の海を渡って到達する悟りの世界を彼岸と言い、その反対側の私たちがいる迷いや煩悩に満ちた世界を此岸（しがん）といいます。そして、彼岸は西に、此岸は東にあるとされております。後は 4 月の馬路会員「長徳寺」においての座禅例会の折にでも馬路住職から補足いただければと思います。

何れに致しましても、季節の温もりと共に私自身の気持ちの緩みを抑えながら、残りの任期三ヶ月を、やり残しのないように努力いたします。会員皆さんと共に悔いの事のないように、全身全霊で頑張りたいと存じますので、よろしくご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

尚「プログラム・スケジュール」には、親睦委員会・プログラム委員会を中心に楽しい企画を準備して頂いております。大野親睦委員長さんが中心になり準備を進めて居ります 5 月予定の親睦旅行は、上半期計画の飛騨高山祭りが「御嶽山噴火」に伴って中止させて頂きましたので、今回のご家族ご一緒の日帰り旅行となります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

入間クラブ今年度計画の中で第一に挙げているのが会員増強です。残る 3 ヶ月で何よりもやり残し出来ないのが会員増強です。増強についての方向性については、度々協議されてきましたが、残念ながら増強までには至っておりません。この件については、増強委員会だけでは解決する事は叶いません。会員全体の責務として取り組んで頂きませんか？と達成は不可能と考えられますので、残り少ない期間ではありますが、会員皆様の英知を結集され、当初の目標、純増 2 名を達成されるよう真剣に取り組んで頂きます事を改めてお願い申し上げます。

●幹事報告

滝沢文夫幹事

1. 2017～2018 年度ガバナー指名の為の指名委員会設置について、坂本ガバナー提案の「指名委員会による手続き」を賛成多数をもって決議され、3/20 指名委員会を設置されました。
2. 先週の新井国際奉仕委員長が FM チャッピーに出演された模様がクラブのHPで聴けます。大変楽しい放送です。是非お聞き下さい。

●細淵克則会員

3月23日の読売新聞に今泉パストガバナーのミャンマー学生支援の記事が載っていましたので回覧いたします。今泉さんは戦時中や今現在もミャンマーの方々にお世話になった事を感謝して、1989年に独自の奨学金制度を作り24年間続けておられる事を皆さんに知って頂ければと思いご報告いたしました。

●齋藤金作会員

最近、社会問題となっています振り込め詐欺の実例が発生し、機転を利かせてタクシーの運転手が警察に報告し、未然に防げた顛末を今日は参考までにお話し致します。皆さんの小さな善意が集まった時に、自然と倫理観の効用と職業的な事が生まれることを実感いたしました。又、先週には警視庁より感謝状を会社と運転手本人に頂きました。

<ニコニコBOX>

忽滑谷明 SAA

新島修一様～本日は卓話でお邪魔します 宜しくお願ひします。関根敬夫様～今日は新島さんの卓話に付いて来ました 宜しくお願ひします。石川嘉彦君、平岡達也君、加藤国夫君、吉永章子君、滝沢文夫君、関谷永久君、忽滑谷明君～新島修一様、関根敬夫様ようこそお出で下さいました。今日は宜しくお願ひ致します。友野政彦君～先週は欠席連絡をせず申し訳ありません。齋藤金作君～経営する一社が警視庁から感謝状を受領しました。

本日¥11,000 累計¥738,500

<出席報告>

田中快枝委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
39名	23名	60.5%	100%

事前欠席連絡 10名

◆回覧、配布物

- ①4/9 座禅例会出欠表
- ②4/21 入間南 RC 合同例会出欠表
- ③5/28 日帰り美術館めぐり出欠表
- ④埼玉県物産観光券事業説明会開催について
- ⑤派遣学生2月次報告書
- ⑥加藤会長「論語」解説書
- ⑦他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑧入間 RC 週報 36号

■■■■講師卓話■■■■

「国際奉仕・国際支援」

新島修一様

ロータリーの最大特色は国際性です。ロータリーのバッジに「インター・ナショナル」の文字が入っているように、他の団体と大きく違う点がここにあり、そしてロータリーの面白さと醍醐味もここにあります。国際奉仕と言うと自分にはあまり縁がないと思われる方、又、遠い世界のように感じられる方々に、本日はロータリーの国際奉仕の楽しさをお伝えして、皆様のクラブの活性化とご自分のロータリーライフを豊かにしていただけたら良いという期待を込め、お話しさせていただきます。



ロータリーの国際奉仕目標は2つあります。①「世界の人々と友情の輪を広げましょう」という国際交流です。海外のクラブとの姉妹(双子)提携を通じて、会員の相互訪問が楽しめます。又、若い青少年の相互訪問プログラムもごさいます。海外のロータリアンや日本ファンの青少年との初めての「出会いの喜び」や別れの時に流す「感動の涙」が味わえます。

②「世界の中で困っている人々を助きましょう」という国際支援です。世界の中には学校に通わせてもらえない子どもたちや、学校に行けても学用品が買えない子どもたちが大勢います。そういった子どもたちに対する支援活動として「寺子屋運動」と生きていく上で最低限必要な飲料水の確保が出来ない地区に対する支援活動「環境保全運動」があります。日本での1万円が海外では10万円15万円の価値を持ち、想像以上のダイナミックな支援活動ができます。

ロータリーの国際奉仕の「国際交流」と「国際支援」の活動の中には「感動」があります。その感動を皆様がご自分で感じて頂く為の第一歩は、まずご自分のクラブに海外姉妹クラブを作って頂くことだと思います。海外姉妹クラブとの交流を、初めての2～3年は友情交換として、その後、信頼できるパートナーとして思えるようになれば、そのクラブの近くの小学校に対する支援を初め、15万円～20万円位のプログラムを組んで、訪問時に視察を行うという段取りが自分でできて、自分の目で確認できる最良のプログラムだと思います。

私たちが日々の生活を送る日常生活の中からは、感動は生まれてきません。ロータリーライフも同じです。毎年同じ事を同じ時期にやっているだけでは変化のない単調な一年で終わってしまいます。日常生活と違う一歩を踏み出して、「一年に一度海外に行きましょう」ご自分で「感動」を味わう事が、ご自分の人生を豊かにし、ご自分のクラブに元気を与えるものと信じています。

会報・雑誌委員会(石川・森田・荒井・関谷)